

総合計画素案に対する意見と対応案

政策1 公共交通に関する政策

①素案に反映

NO	該当箇所	意見の内容	対応案
1	政策	・政策1のフレーズについて、「スマートなまち」で伝わるのか。一般の人にもスマートの意味が伝わりやすい言葉を、加えた方がよいのではないかと。もう少し市民がイメージしやすい言葉を修飾語に入れて欲しい。	政策の文言を、「スマートなまち」→「快適なまち」に修正。
2	施策①北陸新幹線の早期全線開業を目指す	・新幹線福井開業を受け、福井市としてどうするのかがもう少し文言として見える形になっていけばと思う。 ・地域はどうあるべきかということをも少し文言として加えてはどうか。例えば並行在来線や二次交通など。 ・第七次総合計画では、並行在来線の開業準備が書いてあった。第八次総合計画でも、あえて言葉で出した方がわかりやすい。	施策①-1について、「金沢・敦賀間の令和5年度末までの確実な開業と、大阪までの早期全線開業を実現するため、…北陸新幹線の建設を促進します。」に変更。 施策②-1に、新たに主な取組(・)を追加し、「北陸新幹線福井駅を起点に、並行在来線を含めた地域鉄道、路線バス等の二次交通の充実を図り…」を追記。
3	施策②地域交通の利用を促進する	・東西をつなげる交通に積極的に取り組むべき。 ・「東西のネットワークの強化を図る」などを入れることが、施策で書きにくいようなら、現状や課題で文言を少し添えるくらいはしてもいいのではないかと。「東西を含めて全体のネットワークを強化していく」など。 ・「二次交通のネットワークとの緊密な連携によって」といった文言が施策の中で必要ではないか。	施策②-1に、新たに主な取組(・)を追加し、「…行きたいところにスムーズに行ける『全域交通ネットワーク』を実現します。」を追記。
4	施策②地域交通の利用を促進する	・「多様な交通手段」として、カーシェア、サイクルシェアを意識した時に、同じ共通システムで利用できる環境を作ることができると良い。使う側のシステムも含めた交通体系で表現できると良い。 ・「使う側の視点に立った共通システムをしっかりと構築する」はキーワードとして必要かもしれない。	施策②-2について、「利用者が目的に応じて様々な移動手段を使い分けられることができる、分かりやすく選択性のある交通環境の構築に取り組みます。」に変更。 施策③-1について、「市民や観光客が公共交通を選択しやすくなる環境づくりのため…ICTを活用した利便性の向上に取り組みます。」に変更。
5	施策②地域交通の利用を促進する	・「交通事業者に対して必要な支援を行います」とあるが、支援は当然行っていかなければならないこと。この文言を入れる必要はあるのか。	施策②の「交通事業者に対して必要な支援を行います」との文言を削除。
6	施策②地域交通の利用を促進する	・「知ってもらって使ってもらおう」機会を増やすという文言をも少し強化できないか。情報発信、利用啓発が全体的に足りていないと思う。情報を十分に提供するという概念がここに入るとよい。「情報を発信する」と書いた方がよい。	施策②-3を修正し、「公共交通について『知ってもらって使ってもらおう』場や機会を提供するなど、子どもから高齢者まで、幅広い世代に向けた情報発信に取り組みます。」に変更。
7	施策②地域交通の利用を促進する	・公共交通は、重点エリアを繋ぐという利便性も大事だが、魅力をアピールする、魅力を結ぶラインとしても重要ではないか。違う視点から捉える文言があってもよい。 ・地域の人の協働、地元の人を巻き込みながら、地域としてもネットワークの点として作っていくということなので、文言を少し考える必要があると思われる。	施策②-4に文言を追加し、「市民生活や観光に欠かせない公共交通機関を維持するため、交通事業者、行政、地域住民…が連携して、利用促進などの活性化に取り組みます。」に変更。
8	施策②地域交通の利用を促進する	福井市の市域に関して自転車が走りにくい所が非常にたくさんある。その辺を今後どうしていくかということも、何らかの形で考えていかないといけないのかと思う。	施策②-5を修正し、「…レンタサイクルの利用拡大や自転車が安全で便利に利用できる環境整備に取り組みます。」に変更。
9	施策③ICTを活用して公共交通の利便性を高める	・今一番の焦点はキャッシュレス決済。 ・レンタサイクルもキャッシュレス決済でできるようになったら良いと考えるがどうか。その辺も文言として書いておけないか。	施策③を修正し、「…キャッシュレス決済の導入など、ICTを活用した利便性の向上に取り組みます。」に変更。
10	その他	・MaaSの注釈を入れて、文言の補足があると良い。	欄外に、注釈を追記。

政策1 公共交通に関する政策



公共交通を利用して様々な人が便利に行き来できる
快適なまちをつくる

- 誰もが利用しやすい公共交通となるよう、地域鉄道及び路線バス等の利便性の向上を図ります。
- 市民にとっても観光客にとっても利用しやすい公共交通ネットワークの維持・強化に取り組みます。

現状

北陸新幹線は、地方創生の推進や地域経済の活性化、国土強靱化に極めて大きな効果をもたらします。そのため、全線開業を早期に実現することが求められています。

本市の地域交通においては、これまで田原町駅におけるえちぜん鉄道及び福井鉄道相互乗り入れや、福井駅西口広場での交通結節の強化、幹線軸と地域を結ぶフィーダー交通（地域コミュニティバス等）の充実などに取り組んできました。

また、駅利用者の利便性確保に向け駐車場や駐輪場の整備を行うとともに、回遊性向上のためレンタサイクルの推進に取り組んできました。

今後は、並行在来線を含め、市民の日常生活に配慮した交通サービスの提供や、新しい生活様式の中での公共交通機関の利用促進、また、新幹線開業に伴う観光・ビジネス客など交流人口の拡大に対応できる地域交通となるよう、市内の地域拠点を有効に活用しながら、さらなる利便性の向上を図る必要があります。

課題

- ①北陸新幹線の早期全線開業
- ②日常の移動手段の確保と、交通サービスの充実
- ③ICTを活用した利便性の向上
- ④地域拠点の有効活用

施策

- ① 北陸新幹線の早期全線開業を目指す
 - 金沢・敦賀間の令和5年度末までの確実な開業と、大阪までの早期全線開業を実現するため、県及び関係団体と連携し、北陸新幹線の建設を促進します。
- ② 公共交通の利用を促進する
 - 北陸新幹線福井駅を起点に、並行在来線を含めた地域鉄道、路線バス等の二次交通の充実を図り、行きたいところにスムーズに行ける「全域交通ネットワーク」を実現します。
 - 利用者が目的に応じて様々な移動手段を使い分けができる、分かりやすく選択性のある交通環境の構築に取り組みます。
 - 公共交通について「知ってもらって使ってもらおう」場や機会を提供するなど、子どもから高齢者まで、幅広い世代に向けた情報発信に取り組みます。
 - 市民生活や観光に欠かせない公共交通機関を維持するため、交通事業者、行政、地域住民、観光関連企業等が連携して、利用促進などの活性化に取り組みます。
 - 公共交通機関と連携した駐車場及び駐輪場の整備を行うとともに、レンタサイクルの利用拡大や自転車¹⁰が安全で便利に利用できる環境整備に取り組みます。
- ③ ICTを活用して公共交通の利便性を高める
 - 市民や観光客が公共交通を選択しやすくなる環境づくりのため、県や近隣市町と連携して、MaaS¹⁰システムやキャッシュレス決済の導入など、ICTを活用した利便性の向上に取り組みます。
- ④ 地域拠点の機能充実に図り、公共交通利用者の利便性向上を図る
 - 日常生活に必要な機能を備えた地域拠点づくりを進めます。
 - 持続可能な地域内の移動手段を確保するために、交通事業者と協力したフィーダー交通の効率的な運用を行います。

¹⁰ ※Mobility as a Serviceの略。目的地までの移動について、複数の交通機関の中から、各個人に最適な経路や移動手段を組み合わせ、一括に提供するサービスのこと。

総合計画素案に対する意見と対応案

政策2 中心市街地に関する政策

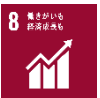
①素案に反映

NO	該当箇所	意見の内容	対応案
1	施策①県都にふさわしい魅力あるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・「訪れた人が、楽しく歩ける、居心地の良いまちづくり」とあるが、<u>居住空間がたくさん生まれてきているので、「ここに住まう人」も加えた方がよいのではないか。</u> ・「働く人」の部分も必要になるのではないか。<u>いくなれば、あらゆる人が、ということになる。</u> 	<p>政策の説明文について、「<u>住む人、訪れる人が、楽しく歩ける居心地の良いまちづくりを進めます</u>」に変更。</p> <p>施策①-4について、「<u>まちなかに住む人や訪れる人が、快適に歩いて楽しめる歩行者空間を創出します</u>」に変更。</p>
2	施策①県都にふさわしい魅力あるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>高度利用と書くと、ぱっと見たときにはハード整備という印象を持たれてしまうかもしれない。</u> ・台湾で50年以上前の日本統治時代の建物をクリエイターが活用し、デザイン力で世界最先端に発展させている。それを福井のまちなかでやれば、変わると思う。 ・<u>文化的な取組であることがもう少し書かれていてもよいのでは。</u>県も街中で気軽に音楽ができるような仕組みを作っていこうと5月から動くようである。 ・<u>既存ストックをしっかりと地域資源として理解したうえで活かすということが大事。</u> ・<u>アーティストに特化する形ではなく、今ある既存ストックを活かすということが書けるかどうか。</u> 	<p>施策①-2について、「<u>土地の高度利用</u>」という表現を修正し、「<u>低未利用地の有効活用や老朽建築物の更新等により、商業・業務・文化等の都市機能の充実を図ります。</u>」に変更。</p> <p>施策①-3について、文言を追加し「<u>個性的で魅力あるまちづくりを進めるため、既存ストックを活かした、まちなかのリノベーションを支援します。</u>」に変更。</p>
3	施策②にぎわい創出のための仕掛け、仕組みをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>中心市街地はJRの西側が主になっている。JRの東側も若干は中心市街地に加わるのではないか。</u> ・<u>文化的な街ということ、福井市の歴史博物館（70歳以上は無料）や美術館は素晴らしい施設なので、知ってもらえればもっと人が来るのではないか。また、ハピリンもすごく充実している。文化的施設と商業施設を拠点にした賑わいのある街づくりも大切ではないか。</u> 	<p>施策②-1について、文言を追加し、「<u>ハピリンやアオッサ等を拠点とした福井の魅力の情報発信や、周辺の商店街とも連携し、まちなか全体のにぎわい創出に取り組めます。</u>」に変更。</p>
4	施策③うるおいと個性あるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>施策③-2に、「足羽山、足羽川、荒川の資源を活用する」と入れておけば、旭小の荒川の辺りまでを想定しているということがわかるのではないか。</u> ・<u>あまり具体的な場所を書いてしまうと中心市街地の位置づけがおかしくなってしまう可能性があるので、まち全体をよくしていくというような書き方ができればよいのではないか。</u> 	<p>施策③-2について、「<u>足羽山や足羽川等のまちなかの水と緑の空間を活かし、うるおいと安らぎのある空間をつくります。</u>」に変更。</p>
5	施策③うるおいと個性あるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>意味としては入っているが、言葉として「景観」が入っていないのが寂しい。</u> ・<u>福井には全国に何か所しかない路面電車が走っている。全国的に見ても特徴的であり魅力的だが、中心市街地に関する政策に言葉として表れていないのはもったいない。</u> ・<u>文言に路面電車を入れる必要はないが、地域特有の資源ということを書いてもらえたらよい。</u> ・<u>七総では風格という言葉がキーワードとしてあったかと思うが、これも景観と合わせて、歴史を感じさせる、質を上げるという意味であってもよいのではないか。</u> 	<p>施策③-3について「<u>豊富な歴史資源や市民に親しまれてきた景観を継承し、魅力と個性のある景観を創出します。</u>」に変更。</p>

②具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応案
1	施策②にぎわい創出のための仕掛け、仕組みをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>再開発や新幹線が整備された後の視点に立つと、夜間の賑わいや回遊性などを入れていってもよいのでは。ホテル、住宅が整備で増えてくる中で、夜間の賑わいをどう作り、それを回遊させるかということも総合計画で謳われているとよい。</u> ・<u>政策2の施策②の中に、「・」を追加して夜間景観を入れるとともに、政策11の所にも入れる形でどうか。福井は夜間の計画が全然できていないと外部から来られる方に指摘をされるので、敢えてここで項目を立てるのはよいかもしれない。</u> 	<p>政策11「観光に関する政策」に関する意見として、第3部会にて議論を行った。その結果、<u>夜間観光については、具体的な取組として検討していくこととなった。</u></p>
2	施策②にぎわい創出のための仕掛け、仕組みをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>アニメ、ドラマ、小説などと連携したしかけ（ロケツーリズム）を創出していくということもどうか。福井を訪れる人で小説の舞台を巡る 聖地巡礼を行っている人もいるようなので、そういう方向にも力を入れるというニュアンスのことが入れられないか。</u> 	<p>政策11「観光に関する政策」に関する意見として、第3部会にて議論を行った。その結果、<u>ロケツーリズムについては、具体的な取組として検討していくこととなった。</u></p>

政策2 中心市街地に関する政策



まちなかの充実した都市機能により、にぎわいと交流のあふれる心弾むまちをつくる

- 県都の玄関口として充実した都市機能を活かし、にぎわいあふれるまちづくりを進めます。
- **住む人、訪れる人が、楽しく歩ける、居心地の良いまちづくりを進めます。**

現状

北陸新幹線福井開業を見据え、中心市街地では、民間主体のまちづくりの機運が高まる中、県都の玄関口としてふさわしい魅力と風格ある市街地の再整備が進められています。

新たな都市の魅力の創出のため、道路や公園等の公共空間を活用した新たな仕掛けづくりを行うなど、まちなかを訪れる市民や観光客、ビジネス客等が心躍るような、にぎわいあふれるまちづくりが求められています。

ハピリンやハピテラス等のにぎわい交流拠点を活かしながら、まちなかの空間整備や民間団体等のまちづくり活動への支援を行い、さらなるにぎわいと交流の創出を図ることが必要です。

また、まちなかの里山として市民に親しまれている足羽山や、リニューアルした福井市中央公園を、新たな福井の魅力を発信する場として、より魅力あるものとしていく必要があります。

課題

① 魅力あふれる空間づくり

② さらなるにぎわいの創出

③ 歴史、水、緑など地域資源の有効活用

施策

① 県都にふさわしい魅力あるまちをつくる

- ・ 民間主体の市街地再開発事業を支援し、市街地のリニューアルを進めます。
- ・ 低未利用地の有効活用や老朽建築物の更新等により、**商業・業務・文化等の都市機能の充実を図ります。**
- ・ 個性的で魅力あるまちづくりを進めるため、**既存ストックを活かした**、まちなかのリノベーションを支援します。
- ・ まちなかに**住む人や訪れる人が**、快適に歩いて楽しめる歩行者空間を創出します。

② にぎわいの創出のための仕掛け、仕組みをつくる

- ・ ハピリンや**アオッサ**等を拠点とした**福井の魅力の情報発信**や、**周辺の商店街とも連携し**、まちなか全体のにぎわい創出に取り組みます。
- ・ 中央公園・ソライロテラスなどの公共空間を活用した民間イベントを支援します。
- ・ 高架下の活用により、福井駅周辺の機能の充実を図ります。

③ うるおいと個性あるまちをつくる

- ・ 福井城址および周辺の資源を活用し、福井城址を中心とした魅力向上を図ります。
- ・ **足羽山や足羽川等のまちなかの水と緑の空間を活かし**、**うるおいと安らぎのある空間をつくり**ます。
- ・ 豊富な歴史資源や**市民に親しまれてきた景観を継承し**、魅力と個性のある景観を創出します。

総合計画素案に対する意見と対応案

政策3 生活インフラに関する政策

①素案に反映

NO	該当箇所	意見の内容	対応案
1	政策	・政策3のタイトルが、少し堅い。生活インフラは未来永劫維持していかないといけないので、「 <u>持続可能な</u> 」というキーワードを載せてもいい。「 <u>強靱な</u> 」となるとハード整備のイメージが強くなるので、少しソフトなイメージが入るように文言に変えてはどうか。	政策のタイトルについて、「 <u>持続可能で強靱な社会基盤と安全で快適な生活環境が整ったまちをつくる</u> 」に変更。
2	政策	・ハード整備となると、どうしても行政にやってもらうという印象になる。我々市民もやらなくてはいけないというイメージに変えていくということも大事。施策の中で表現するのは難しいので、そういった意識が醸成できるような文言を政策の所で掲げるといい。	政策について、「 <u>●市民や企業等と連携して、安全で快適な生活環境を保全します</u> 」を新たに追加。
3	施策①強靱な社会基盤を構築する	・素案の文言が抽象的なので、具体的な言葉が入ってもよいのでは。 ・道路について、年間の4分の1は雪に関係する地域なので、「年間を通して快適な生活ができるような道路環境の整備」や「 <u>雪に強い</u> 」などを入れた方がいいのではないか。 ・七次総合計画の期間中に大雪が2回発生しているが、文言に入っていない。 ・地震と水害も怖いので、強靱化を図るのであれば、何か文言を入れていただきたい。	施策①-1について、「 <u>道路施設の計画的で効率的な整備・維持管理を行い、大雪などの自然災害に強い安全で快適な環境を確保します。</u> 」変更。
4	施策①強靱な社会基盤を構築する	・施策①-3は、抽象的で、ぼんやりとした表現となっている。 ・大胆に具体的な事例を出して、表記した方がよい。	施策①-3について、「 <u>建築物の耐震化を進め、誰もが安心して暮らせる住環境づくりを進めます。</u> 」に変更。
5	施策①強靱な社会基盤を構築する	・嶺北連携中枢都市圏の中心都市という立場になったため、他の市町との連携的な視点での言葉が入ってもいいのではないか。 <u>連携</u> というキーワードを入れた方がよい。 ・災害発生時における災害の後始末として、市民生活に及ぼす影響が大きいものとして <u>災害ゴミ</u> があるが、どう対処するのか。福井市のごみ始末は最終的に群馬県に運んでいるが、この負担をいかに少なくするかということを考えておかないと、将来的にはいつまでたっても他県に福井市のごみの後始末をお願いする状態が続くのではないか。	施策①-4について、「 <u>大規模な自然災害に備え、強靱な社会基盤の整備を進めて被害を最小限に抑えるとともに、災害発生時に迅速な復旧が行えるよう、県や近隣市町との連携強化を図ります。</u> 」に変更。
6	施策②安全で快適な生活環境を保全する	・ <u>税金が減る中で大変になる生活インフラの確保について、行政だけではできないので民間の力を借りてやっていく</u> ということを書いた方がよい。 ・ <u>施策②-2で、地域という言葉ではイメージしにくいので、もっと地域の人たちを巻き込んでいくんだ</u> という書き方に変えることはできないか。	施策②-2について、「 <u>地域</u> 」の文言を削除し、「 <u>市民、行政、企業等が協働しながら、公園の整備・維持管理及び利活用を進めます。</u> 」に変更。
7	施策③安全で安心な上下水道のサービスを提供する	・簡易水道では、時々断水してしまうことがある。快適に生活するためには、水問題にしっかり取り組まなければならない。施策③-1では「 <u>水道施設の計画的な更新</u> 」と書いてあるが、 <u>すべての市民に同じ条件の水が行き渡るような努力をするために、もう少し言葉を足してはどうか。</u>	施策③-1について、「 <u>上水道及び簡易水道の適切な水質管理と、施設の計画的な更新及び耐震化を進め、安全で安心なおいしい水を安定的に提供します。</u> 」に変更。

②具体的な取組として検討

NO	該当箇所	意見の内容	対応案
1	施策②安全で快適な生活環境を保全する	・空き家では、下水の問題があり、利活用が難しい場合がある。空き家の問題には、 <u>税法上の問題</u> や <u>個人の資産の問題</u> などがあるが、利活用に関する支援事業があれば、空き家が減るのではないか。	現在、老朽危険化した空き家等の除却支援、空き家無料相談会の開催、利活用を図るため福井市空き家情報バンクによる情報発信などに取り組んでいる。今後、関係所属や外部機関と連携し、さらなる相談体制の充実を図っていく。



政策3 生活インフラに関する政策

1 持続可能で強靱な社会基盤と安全で快適な生活環境が整ったまちをつくる

●市民が安全・安心に生活できるよう、災害に強い社会基盤の整備と、適切な維持管理を行います。

2 ●市民や企業等と連携して、安全で快適な生活環境を保全します。

●市民の信頼に応える良好な水環境を保つとともに、安全で安心な水を安定供給します。

現状

頻発する自然災害に備え、市民が安全・安心に暮らせるよう、道路、河川、下水道等の社会基盤の強靱化と、適切な維持管理に努めています。

特に、高度経済成長期に整備した施設が更新時期を迎えているため、点検調査を実施し、長寿命化による効率的な更新・維持管理に取り組んでいるところです。

水道事業では、水需要の増加を前提とした拡張の時代から転換し、水道水の安定供給を継続する更新・再構築の時代を迎えています。中長期的な視点に立った計画的な施設更新と耐震化を進め、健全で災害に強い水道を整備することが重要となっています。

下水道事業では、未だ汚水処理施設を利用できない未普及地区の解消や、老朽化に伴う不具合を未然に防ぐための計画的な改築・更新、さらに効率的で適正な施設の維持管理を行う必要があります。

課題

①強靱な社会基盤の構築

②良好な生活環境の保全

③健全で安定したサービスの提供

施策

① 強靱な社会基盤を構築する

- 道路施設の計画的で効率的な整備・維持管理を行い、**大雪などの自然災害に強い安全で快適な環境を確保**します。
- 河川、水路及び下水道施設の計画的な整備・維持管理により、大雨による浸水被害を軽減します。
- 4 ●**建築物の耐震化を進め**、誰もが安心して暮らせる住環境づくりを進めます。
- 5 ●大規模な自然災害に**備え**、強靱な社会基盤の整備を進めて被害を最小限に抑えるとともに、**災害発生時に迅速な復旧が行えるよう、県や近隣市町との連携強化を図**ります。

② 安全で快適な生活環境を保全する

- 市民、行政、企業等が連携し、良好な河川環境を保全します。
- 6 ●**市民、行政、企業等が協働しながら**、公園の整備・維持管理及び**利活用を進め**ます。
- 空き家除去への支援を行い、適正な管理を促進するとともに、利活用を図ることで、空き家の発生を抑制します。

③ 安全で安心な上下水道のサービスを提供する

- 7 ●**上水道及び簡易水道の適切な水質管理と**、施設の計画的な更新及び耐震化を進め、安全で安心なおいしい水を**安定的に**提供します。
- 公共用水域の水質を保全するため、公共下水道の整備を計画的に進め、下水道の未普及地区の解消を図ります。
- 下水道の持続的な機能確保のため、計画的に下水道施設の更新や耐震化及び耐水化を行い、適正な維持管理を図ります。
- 効率的な事業運営と経費節減に努め、収支のバランスを図り、健全で安定的な経営を行います。